

瀬野川で見られる水鳥たち



ここ瀬野川は浅瀬、中洲等の多様な環境があり、多くの水鳥たちが生息しています。魚を餌にしている鳥たち、空にはミサゴ、水際ではサギの仲間、水面ではカツブリが見られます。秋から春にかけてはシベリアから飛来するカモたちで賑わいます。

ひまわり大橋から下流は汽水域となっており、干潮時にはセグロカモメ、ウミネコ、カモメなどカモメの仲間も飛び交います。尾を振って虫を食べるセキレイの仲間や歩き回って餌を探るイソシギも見られ、きれいな水の象徴と言われるカワセミが観察できるのも環境の良さを示しています。

カモの仲間



カルガモ 全長約60cm

雌雄同色で全身茶色。雑食性で草の実や水生昆虫を食べる。巣は水辺の草むらなどに作り、子育てをする姿が見られる。

セキレイの仲間



ハクセキレイ 全長約20cm



セグロセキレイ 全長約20cm

白い顔に黒い線が特徴。頭から肩、背にかけて黒色または灰色。チチン、チチンと鳴く。水辺の昆虫や水生昆虫を食べる。

タカの仲間



ミサゴ 全長約55~65cm

魚を主食とする水辺に棲むタカ。翼の裏側は白っぽく見える。ホバリングから急降下して水面近くの魚を足でつかむ。

シギの仲間



イソシギ 全長約20cm

全身茶色の小型のシギで一年中見られる。食性は昆虫、水生昆虫など。飛ぶ時、ピピピピと鳴き、羽に白い線が見える。

サギの仲間



ダイサギ 全長約90cm

シラサギの仲間では最大。夏はくちばしが黒く、冬は黄色に変わる。ゆっくり歩き回りながら魚やカエルなどを食べる。



コサギ 全長約60cm

シラサギの仲間では最も普通に見られる。くちばしが黒く足の指が黄色い。水辺で待ち伏せ、徘徊して小魚などを食べる。



アオサギ 全長約90cm

背が灰色をしたダイサギと同じ大きさのサギ。頭に黒い冠羽がある。じっと待ち伏せをして、魚などを捕らえて食べる。

その他の水鳥



カツブリ 全長約25cm



カツブリ 全長約80cm



カワセミ 全長約20cm

『翡翠』と言われるほど非常に美しい鳥。小魚が主食。チーンと細く鋭く鳴きながら水面すれすれを弾丸のように飛ぶ。

一年中見られる鳥

秋から春にかけて見られる鳥



マガモ 全長約60cm

雄は光沢が美しい緑色の頭部から「青首」とも呼ばれる。雌は茶色で地味。アヒルの原種で、アヒルとの交雑体も多い。



コガモ 全長約40cm

カモの仲間では最小。雄は茶色の頭に緑の帯がある。雌は他のカモと同様に雛を育てるため、地味な色をしている。



ヒドリガモ 全長約50cm

雄は頭頂部が黄色で首から上が茶色をしている。雌は地味な茶褐色。主に水上に浮かぶ植物などを食べる。ピューイと鳴く。



オナガガモ 全長 雄約75cm 雌約65cm

雄は尾が長い。頭と顔が黒く白い首が目立つ。雌は茶色。水中の餌を探る姿は逆立ちをしているように見える。

カモメの仲間



ユリカモメ 全長約40cm

足とくちばしが赤い雑食性の小型カモメ。餌を求めて海から川の上流まで移動する。4月頃から頭部が黒くなる(夏羽)。

野鳥の観察にあると便利なものの紹介

双眼鏡
(8~10倍がおすすめ)

野鳥図鑑 ノート 筆記用具
(見た鳥の名前や日付を書く)

目立たない服装

歩きやすい靴

※通行や近隣の迷惑にならないよう十分に配慮して観察しましょう。

観察ポイント



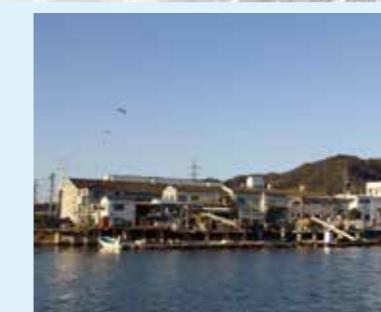
遊歩道から

- 遊歩道付近には中洲や樹木があり、野鳥の憩いの場となっている。
- 魚を狙うサギ類、中洲で休むカモ類、遊歩道を歩くセキレイ類、枝にとまるカワセミなどが間近で観察できる。



昭和公園から

- 昭和公園付近には潮止堰があり、下流は汽水域となっている。
- 干潮時にはサギ類や水浴びをするカモメ類のほか、イソシギ・イカルチドリなどのシギ・チドリ類も観察できることがある。



明神公園近くから

- 海田湾に面した河口部は波が穏やかで、干潮時には干潟も現れる。
- カツブリ、イソシギ、サギ類、カモメ類、狩りをするミサゴのほか、ヒドリガモなどの淡水ガモやキンクロハジロなどの海ガモも観察できる。

発行
海田町企画部企画課
〒736-8601 広島県安芸郡海田町上市14番18号
TEL (082) 823-9212
FAX (082) 823-9203
<http://www.town.kaita.lg.jp/>